

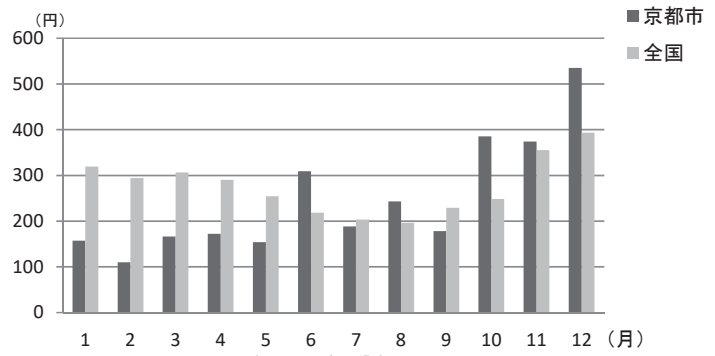
ワイン

みなさん、ワインはお好きですか？忘年会やクリスマス、お正月などでおいしいお食事と一緒に飲む機会が多くなるワイン。今回はワインについて調べてみました。

平成30年の家計調査（二人以上の世帯）で京都市における1世帯当たりの「ワイン」への支出金額を月別にみると、12月が最も多く、年間支出金額の約18%を占めています。

また、特に、秋が深まる10月から本格的に寒くなる12月の3か月間の支出金額が多く、年間の約44%を占めています。（図1）京都市では秋から冬にかけてワインの支出金額が大きくなるのがわかります。

図1 平成30年1世帯当たりのワインの月別支出金額



次に、全国における12月の日別支出金額をみると、24日と30日に大きな山があります。（図2）

やはり、クリスマスや年末など、大勢で集まって食事をする機会が増える時期に合わせてワインの消費が増えていることがわかります。

また、全国における11月の日別支出金額をみると、15日に大幅に増加しています（図3）。これは…？そうです、ワインといえば、ボジョレーヌーボーですね。その解禁日（11月の第3木曜日）に合わせて支出金額が大きくなっていることがわかります。

さて、今年も残すところ10日余りとなりました。みなさまもおいしい食事と素敵なワインで1年を締めくくられてはいかがでしょうか。くれぐれも飲みすぎにはご注意ください…。

図2 1世帯当たりのワインの日別支出金額
(平成30年12月 全国)

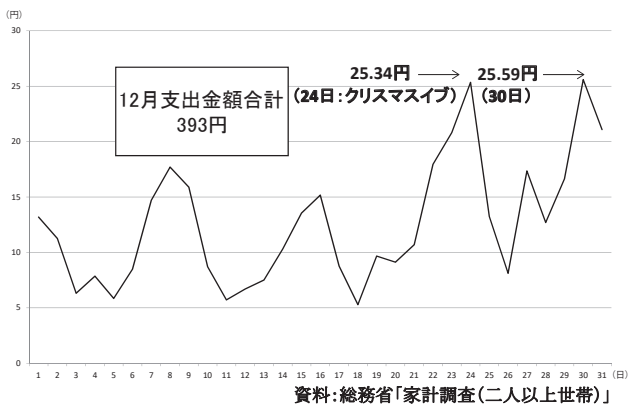


図3 1世帯当たりのワインの日別支出金額
(平成30年11月 全国)

